



熊の湯
世界自然遺産知床エリア内、羅臼川のほとりの森の中に作られた秘湯。明治時代の地図にものっている歴史ある温泉で地元の愛好家の皆さんが管理しています。泉質の良さと湯の熱さで、地元の漁師さんにも人気の温泉です。 ●泉質/含硫黄・ナトリウム・塩化物泉(硫化水素系) ●入浴可能期間/通年(朝5〜7時は清掃のため入浴不可) ●脱衣所あり ●浴槽男女別

日帰り入浴

ホテル峰の湯	0153-87-3001	550円
らうす第一ホテル	0153-87-2259	600円
羅臼の宿まるみ	0153-88-1313	1,100円
志賀旅館	0153-87-2101	500円

※日帰り入浴時間は各施設にお問い合わせ下さい。



相泊温泉

日本最東端の温泉で、道路の終点・相泊地区にあります。湯船に仕切りがあり、シートで小屋掛けされ男女別になります(台風や高波の時撤去)。 ●泉質/弱塩泉 ●入浴可能期間/5月中旬〜9月上旬、日の出〜日の入り(時化の場合入浴不可) ●脱衣所/小屋設置時あり ●7月〜9月は男女別の浴槽あり



セセキ温泉

テレビドラマ「北の国から2002遺言」で有名になった、海岸を岩で囲った露天風呂。満潮時には海に沈みます。昆布番屋の漁師さんが管理しているので、ひと声かけて入浴を。 ●脱衣所なし ●混浴(水着入浴可) ●入浴可能期間/オープン未定〜9月中旬

キャンプ場



羅臼オートキャンプ場
0153-88-1094
期間/7月中旬〜9月中旬



知床国立公園羅臼温泉野営場
0153-87-2126
期間/6月中旬〜10月中旬



知床羅臼の自然や文化、登山などの情報提供を行っています。シャチの骨格標本やはく製もあり子どもも楽しく学べます。 ●入館料/無料 ●月曜休館(7〜9月は全日開館)、年末年始休館



知床岬や知床岳など、深い自然の地に足を踏み入れる登山者やシーカヤッカーなどに、現地の情報を提供しています。 ●入館料/無料 ●火曜休館(11〜4月休館) ※水・飲料水はありません



羅臼は縄文時代から北方民族が行き来した地。遺跡から出土した土器や石器、漁業や生活に関わる資料などが展示されています。 ●開館時間/9:00〜17:00 ●休館日/土日祝・年末年始(7〜9月は全日開館) 羅臼町郷土資料館 0153-88-3850



昭和43年に北海道指定天然記念物に指定されました。数十分間隔で見ることが出来ます。羅臼ビジターセンターからは徒歩3分です。



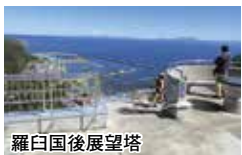
明治28年に創立された、歴史と伝統のある浄土真宗東本願寺末寺の寺院。5月下旬頃から開花するエゾオヤマザクラは大変見ごたえがあります。 誠諦寺 0153-87-2020



羅臼町と斜里町を結ぶ知床横断道路の頂上。標高約740mの峠になっており、羅臼岳や国後島を望むことができ、季節ごとに美しい風景を楽しむことができます。冬季間(11〜4月下旬)は閉鎖されます。



羅臼港と根室海峡を望む。丘からマッコウクジラを観察できる世界で唯一の場所。双眼鏡を持っていくことをおすすめします。※冬期間は除雪されないため入浴することができません ※バスの運行不可



高台から羅臼市街地や北方領土国後島が一望でき、特に流水が訪れる季節には幻想的な光景が見られます。また展望塔館内では、北方領土に関する資料の展示や、映像上映も行っています。※冬期はバスでの運行不可



戸川幸夫の小説「オホーツク老人」の碑が建っています。「地の涯に生きるもの」に主演した森繁久弥が町民に感謝を込めて送った歌「さらばラウスよ(のちの「知床旅情」)」の歌詞が、森繁自身の筆で彫られています。



全高20mもの大きな岩が目に入ります。沖合の方から見ると大きな熊が立ち上がっている姿に見えます。



漁業の町・羅臼を守る唯一の神社。安政年間(1854年〜1859年)に創建され、現在の社殿は昭和50年に造営されたものです。世界遺産知床の町で御朱印をもらおう。 知床総鎮守 羅臼神社 0153-87-2225



知床羅臼

SHIRETOKO RAUSU



海と山と空に
カムイ
神が集うところ